

# 社会資本総合整備計画書(第3回変更)

神奈川県湯河原町

平成27年3月31日

社会資本総合整備計画

平成26年10月31日

計画の名称	安全・安心の確保、災害に強いまちづくり (防災・安全)												
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)					交付対象	湯河原町						
計画の目標	固定系防災行政無線をデジタル方式に対応した機器へ整備し、国が推進する全国瞬時警報システムの導入による緊急情報の住民への伝達、また、難聴地域及び海岸線付近に屋外拡声子局を増設することにより、情報伝達区域の拡大及び津波に対する警戒態勢の強化を図り、住民の避難行動への充実を促進する。												
計画の成果目標 (定量的指標)	固定系防災行政無線のカバーエリアを1,837ha (H22)から2,035ha (H27)に拡大することにより、新たに難聴地域及び海岸線地域をカバーすることが可能となる。												
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考	
											当初現況値 (H22当初)		中間目標値 (H24末)
	屋外拡声子局を6局新設、33局建替、5局機器交換を実施する。(合計44箇所整備)										1,837ha		2,035ha
全体事業費	合計 (A+B+C)	190.7百万円	A	111百万円	B	68.5百万円	C	11.2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		5.87%		

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	防災	一般	湯河原町	直接	湯河原町	防災行政無線整備事業	親局、屋外子局、設計監理等	湯河原町						111.0	
合計												111.0			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-B-1	公園	一般	湯河原町	直接	湯河原町	(仮称) 湯河原海辺公園 (広場公園) 整備事業	4,840㎡、屋外拡声子局、東屋、トイレ等	湯河原町						68.5	
合計												68.5			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-B-1	海岸線に (埋立地) の公園に防災行政無線設備を整備することにより、公園内及び海岸線の津波対策の強化を図る。											

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	防犯	一般	湯河原町	直接	湯河原町	防犯灯設置事業	防犯灯設置	湯河原町						1.0	
1-C-3	防災	一般	湯河原町	直接	湯河原町	海拔表示板整備事業	海拔表示板、避難誘導看板設置	湯河原町						1.6	
1-C-4	防犯	一般	湯河原町	直接	湯河原町	住民生活サポート事業	防犯カメラ設置	湯河原町						7.2	
1-C-5	防犯	一般	湯河原町	直接	湯河原町	防災マップ作製事業	防災マップの作製	湯河原町						1.4	
合計												11.2			

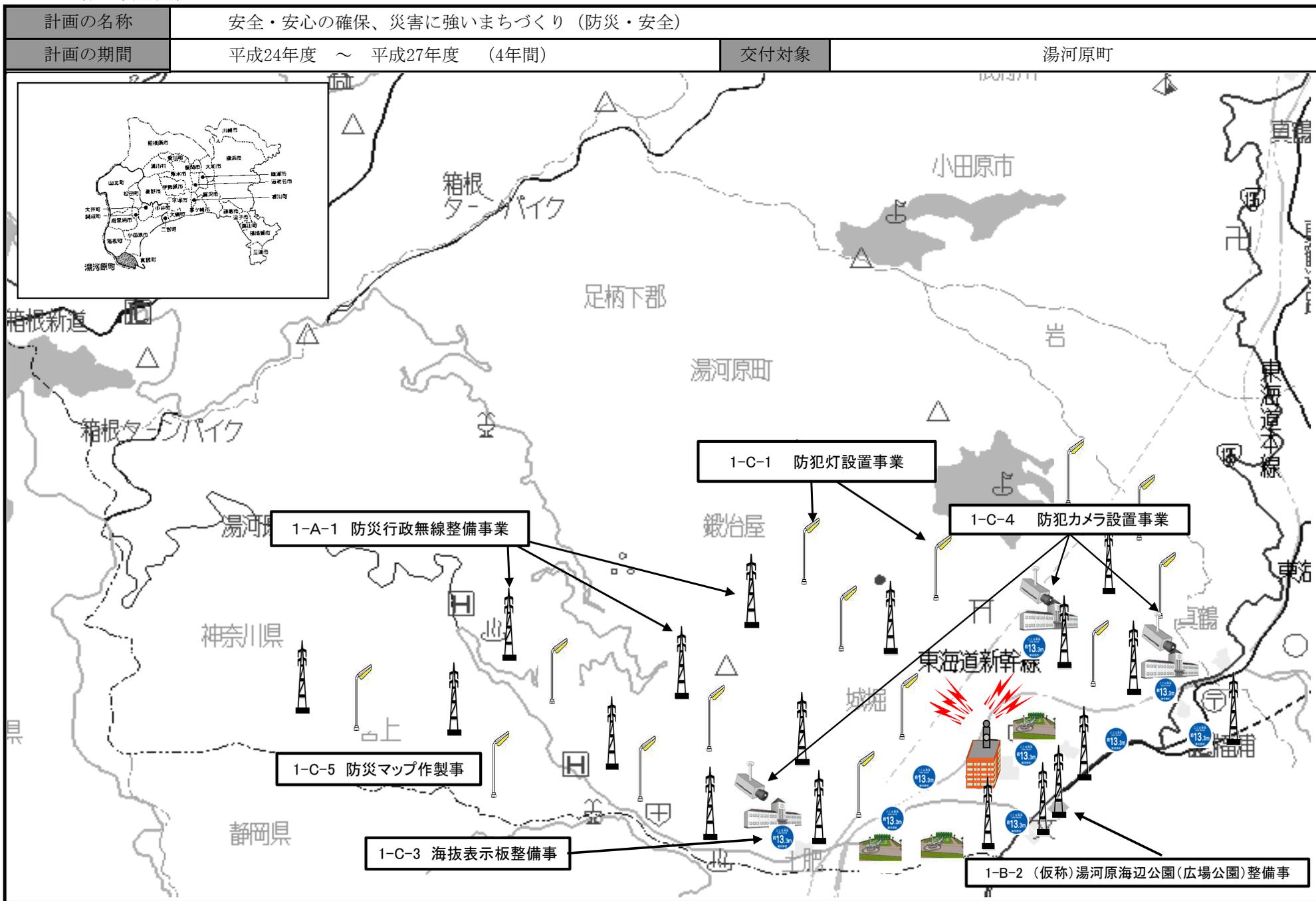
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	防犯灯を増設することで屋外犯罪を防止を図り、併せて夜間の避難となる際の照明を確保することで、地域住民が住みよい環境を整備することにより、安全・安心なまちづくりを実現する。											
1-C-3	町内に海拔表示板及び避難誘導看板を設置することで、津波警報や大津波警報などの発令時において、住民や観光客の方々が避難場所への指標として役立てていただくことにより、安全・安心なまちづくりを実現する。											
1-C-4	常時において児童等の安全を確保することと合わせ、非常時には避難者の避難状況を把握する環境を整えることを目的に、広域避難場所である3箇所の小学校の校門、通用門、校庭等に防犯カメラを設置し、常時及び非常時に対応した安全・安心なまちづくりを実現する。											
1-C-5	防災マップを作製し、住民に全戸配布することにより、災害に対する知識や避難場所等が確認でき、防災行政無線での案内と併せた安全・安心の向上を実現する。											

その他関連する事業

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
								H23	H24	H25	H26	H27			
A'	防災	一般	湯河原町	直接	湯河原町	防災行政無線整備事業	親局、屋外子局、設計管理等	湯河原町						33.0	安全・安心の確保、災害に強いまちづくり
C'	防犯	一般	湯河原町	間接	区会	防犯灯設置事業	防犯灯設置	湯河原町						0.4	
	防犯	一般	湯河原町	間接	区会	防犯灯改修事業	防犯灯改修	湯河原町						0.4	

A'	33.0百万円	B'	0百万円	C'	0.8百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	5.35%
----	---------	----	------	----	--------	---------------------------------	-------

(参考図面)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 安心・安全の確保、災害に強いまちづくり(防災・安全)

神奈川県湯河原町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○